



図書館だより

11月号 (NO.6)

発行：中野区立中野中学校図書館

今月は図書ラベルについてお話ししてみたいと思います。皆さんは、図書館の本の背に貼ってあるラベルの意味を知っていますか。ラベルは、本の住所のようなものです。皆さんの家の住所も何丁目何番地・・・というようになっていますよね。本も同じです。日本十進分類法というルールに基づいて数字がつけられています。ラベルの意味が分かると本が効率よく探せて便利です。

913

そ

1

左にある図書ラベル、上段には分類記号といって3桁の数字が書かれていますが、一番左の数字で本の本分野がわかるようになっています。今は9と書かれているので文学を表しています。ここが0だったら総記、1だったら哲学、2歴史・3社会科学・4自然科学・5技術・6産業・7芸術・8言語・9文学となっています。この数字が書架（本棚）の番号と一致します。

《例》

『ぼくらの七日間戦争』
宗田理/著

ちなみに91は9の文学をさらに細かく分類した、文学の中の日本を表し、913は文学の中の日本の小説、物語を表します。細かく覚える必要はありませんが、一番左の数字の意味をちょっと覚えておくと本を探すときに便利です。中段は図書記号で著者や編者などの頭文字です。下段は巻冊記号でシリーズの巻数などを記しています。数字の読みは、数の大きさではないので「きゅういちさん」とひとつずつ読みます。



*** 今月のおすすめ本 ***



『読書がたくましい脳をつくる』

脳科学者が見つけた、みんなの生活習慣と脳の関係

川島隆太/著

くもん出版 (491か)



学習が脳をどう育てるか、早寝早起きや朝ごはんなどの生活習慣と脳のかかりはどうか。読書習慣、パソコン、スマートフォンが脳にどんな影響を与えるのかなどを脳の画像やグラフをたくさん使って紹介しています。脳科学の学問分野に興味を持てる一冊になるかも・・・。

『アーモンド』

ソン・ウォンピョン/著

矢島暁子/訳

祥伝社 (929そ)



脳の左右にあるアーモンド（扁桃腺）が人より小さく、怒りや恐怖を感じるできない16歳の高校生ユンジェ。突然事件が起きユンジェは1人ぼっちで生活していくことになる。そして、彼の前にもう一人、物心もつかないうちに親とはぐれた不良少年ゴニが現れる。社会にうまく溶け込めない二人の間に友情が生まれていく。

『未来を変える ロボット図鑑』



ローラ・ブラーほか/著

創元社 (548み)

現代のロボットの進化には目覚ましいものがあります。この本には人間の生活を助けるロボットがたくさん登場します。家庭用から産業用まで世界の最新ロボット36体を大きなカラー写真を使って大きさやしくみ、機能を紹介しています。ペットや友達の役割もしてくれま。皆さんはどのロボットに関心がありますか。